

# 大歯 医政へのかけ橋

## 奥野兵庫県校友会会長

### 日歯副会長に無投票で当選

大歯校友会兵庫支部長である奥野半蔵氏はこのたびの日歯役員改選において日歯副会長に立候補したが無投票で当選し、これは新しく日歯の医政にその脚跡を展ることにした。

これに前後して大歯関係から日歯副会長となったのは竹中恒夫氏、前田勝氏について三人目である。



奥野会長の話 昨年五月の総会に始まって八月にはリクリエーション、九月には坂、橋本副会長の提案、各分会の行事、さらに十一月には新入会員歓迎会など目まぐるしい行事が行われ各理事諸君と金澤氏の絶大なご支援のもとに活発な事業を行ってまいりました。

その間歯科医研会との関係事項が多く人事の交流などもあり相当

## 小野巖氏衛生士学院長に

### 後任兵庫副会長には山下治夫氏

かねて衛生士学院の院長問題で本兵庫副会長を辞任されたことな

友会副会長である山下治夫氏(一回卒)が決定した。なお新学院長に就任した小野巖氏は次のように語った。



小野巖氏の話 近時歯科衛生士養成の両がやましく叫ばれて

衛生士も本業にならざるを得ない。育するものも少なくない。

若育成に力コプを入れていることわが兵庫に生れた私どもの学院は新しい時代の傾向でありましょ

# 大阪歯科大学

## 兵庫県校友会会報

第 12 号

編集兼発行人 村 井 俊 郎

校友会が親睦団体であるか、政治組織を必要とするかという問題は、自識ある校友たちで常に論議される主眼であるが、それは自ら支部組織の場合と府県単位の場合はかなり趣が異なると思われる。

友会副会長である山下治夫氏(一回卒)が決定した。なお新学院長に就任した小野巖氏は次のように語った。

友会副会長である山下治夫氏(一回卒)が決定した。なお新学院長に就任した小野巖氏は次のように語った。

友会副会長である山下治夫氏(一回卒)が決定した。なお新学院長に就任した小野巖氏は次のように語った。

友会副会長である山下治夫氏(一回卒)が決定した。なお新学院長に就任した小野巖氏は次のように語った。

友会副会長である山下治夫氏(一回卒)が決定した。なお新学院長に就任した小野巖氏は次のように語った。

友会副会長である山下治夫氏(一回卒)が決定した。なお新学院長に就任した小野巖氏は次のように語った。

友会副会長である山下治夫氏(一回卒)が決定した。なお新学院長に就任した小野巖氏は次のように語った。



え・玉川 義 男

四月三日の大本部役員会の席上において現学長吉崎善信氏は大

目的貫徹のため努力したいと述べ、学長留任の意思を明らかにしたが、役員会の席上これに反対するもの

はな、席上の空気が押し詰まると、学長の留任は決定的であると思われ、各位の吐舌を喚び遺りに倍して愛憎とご支援を懇願いたしました。

大歯入学会は支部長経由で

校友会推薦をモットーに

大歯入学会は支部長経由で

校友会推薦をモットーに

祝 小野先生古稀祝賀会

期日 六月十八日 午前十時

場所 (牧野) 大阪歯科大学

兵庫県校友会一同

# 校友会回顧録

## 高橋旅館の血闘

阿部 勉 (西宮市)

現在の兵庫県の校友会の発展躍進ぶりは往時を振り返ると目を見張るばかりのものがあるが、この校友会の発展の陰には幾多の功労者の血と涙に彩られたエピソードが多くあった。

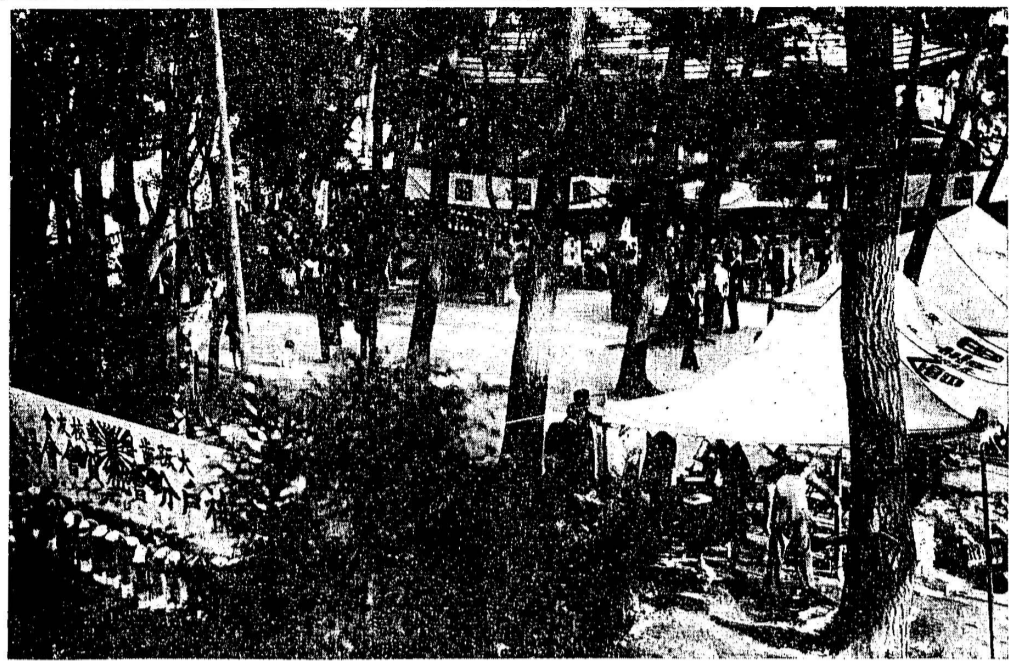
本編はかつて校友会のようらん時代の血気盛んな若人たちの正義感が権力に戦いをいどんだ一幕であるが、若き日の竹中恒夫氏の熱情を目的のあたりに見る感があり現在でも私たちの反省と批判を仰ぐに足りる好箇の読物であると思われる。筆者は兵庫県校友会諮問委員、兵庫西宮市長として活躍されているが編集部がたつてご寄稿をお願いした次第である。

昔話になるが昭和十七年大西会長といふのはそれまでの慣例が会長 相性の山口馨と西宮二名、東部等が開かれ会長ならびに副会長、理事は東部から一名、西部から一名と事の選挙が行われ、会長竹中恒夫、副会長伊藤英一、山口馨となつたがこの副会長選挙が問題となつたのであるが、竹中会長の抱負が大園内で内輪もめが起る事になった。

合は東部から出ている本会理事阿部理事太田正雄は辞任するといふ線が強硬な申入れをする事になつた。

## 医政の全てはイスの争奪

私が竹中氏とはクラスメイトであり長年の親友であることは諸君もよく承知の通りで、私の立場は最も苦しかったが大義名分のためには私情を捨てるべきだと悲壮な



昭和十年ごろ布引山六英荘における大園校友会総会、当日は大園朝比奈学長始め各校々友会の役員、大園校友会多数が出席して盛会を極めた。(注=六英荘)東京にあったものを布引に移したもので在京中岩倉友美の病床を明治天皇が見舞われた建物

イライラさせ精神的に疲弊させて有利な立場を築いたが、竹中会長がまさかそんな作戦だったとは思えない結果は同じことになつた。

イライラして待たが時間は経つばかり、夕やみ迫れば悩みは果てなし、乱るる心に...そのころ流した歌の文句だが夕刻はトクンと過ぎて雑談の種もつきると腹は減るし心細くなつて心は乱れる。若手の心を察知したか元老連腹が減つては戦はでん、まず腹ごしらえをと腹を取り寄せ二口、三口箸を取るからぬかに...三口箸を取るか取らぬかに...タイミンがよかつたね...女中が竹中会長が到着ですと知らせてきた。女園で待つてもらつて食事をする事になり目を白黒させて飯をかき込んだがいやその苦しかったこと...

## 学長出馬で円満解決

三名、われわれ若手三名は気持ちの動揺を抑えることができず一言も発し得なかつたが、彼ら三名はわが元老三名相手におおむね静かな態度を吐露してわたり合つた。元老はこれはずれも医政の強要だ。主張をガツとして譲らず議論となつたが話はずり行線のまま結論を得ずならみあいのままソレを分つ静切れとなつた。

帰る道すがら元老たち白く、いい度胸だ、敵ながら天々晴れた。と感嘆これ久しうしたが...そのご学校側も事態を憂慮し当時の飯塚学長ならびに西園校友会会長が乗り出されたのではお互いに譲歩して妥結すべきだといふことになり円満に解決をみる事になった。ところがこの事件後、雨降って地固まるの例か、それまで陣分石岡三三君が骨折つていた兵庫県の校友会一本化がこれを機に急速に進

若布刈竿むすひおりひとりねんごろに前垂を濡らして若布日和かな初蝶のうすむらさきを見失ふ引鳴のものふともなくなくなりぬ働蜂いずれも長き冬をへし

初蝶 佐本洛木 (長田区)

阿部先生の「高橋旅館の血闘」は昭和初期の兵庫県校友会が一つになつた事、前の台頭期の一件で、我々温床に育った校友会員には想像もできない物語であるが、権力への抵抗を示す校友の意気がうかがわれた。奥野日副会長の当選はまずまずこの校友会が日頃の連がりを深めることであり医政への橋頭堡としてここに期して待つものがある。

- 神戸市灘区北長狭通七丁目一六六 藤沢 敏雄 電話元町④二五九四番
- 神戸市長田区四番町八丁目五五四 前田 又一 電話淡川⑤九六六三番
- 神戸市灘区桜口町二丁目一七 宮脇 俊男 電話御影⑧五九四一番
- 神戸市兵庫区大開通八ノ二一街区ノ一 山田 明 電話淡川⑤〇七四七番
- 神戸市灘区城内通七ノ一 青木 幸雄 電話御影⑧二七六番
- 神戸市兵庫区上沢通七丁目三 天竹 稔 電話淡川⑤七七七番
- 神戸市長田区久保町九丁目一六 上村 幸夫 電話(須磨)一九八四番 (三宮)一九八六番
- 神戸市生田区下山手通八丁目四ノ四 川向 庄一 電話元町④五七三四番
- 神戸市兵庫区下山町二ノ三五 白川 直芳 電話(兵庫)〇八六七番 (淡川)〇八一三一番
- 神戸市生田区中山手通三丁目一七 田中 孝一 電話掛合③四七五〇番
- 神戸市兵庫区中道通二丁目一ノ二五 西原 一夫 電話兵庫①〇一四八番
- 神戸市灘区中原通六丁目七 藤岡 里美 電話御影⑧九七七一番
- 神戸市生田区北長狭通七丁目一六六 藤沢 敏雄 電話元町④二五九四番
- 神戸市長田区四番町八丁目五五四 前田 又一 電話淡川⑤九六六三番
- 神戸市灘区桜口町二丁目一七 宮脇 俊男 電話御影⑧五九四一番
- 神戸市兵庫区大開通八ノ二一街区ノ一 山田 明 電話淡川⑤〇七四七番



水ぬるむ春 (堀家吉夫・垂水区)

今日を思えば感無量

支部長小野誠なるにおよび新卒と想つたら面白い題名をつけた。業生歓迎会などを企画し会員の心を呼び起し団結の基礎を築いたのである。今日の会の隆盛を見て感慨無量なるものがある。

もつ二度と高橋旅館の血闘のようなことは間違つても繰り返さずこのないよう会員諸君の同意と良識に訴えんがために慚愧の念をもちこれをつづつたのである。

くわしく考へておくれ。

なにも高橋旅館で血闘してないじゃないかって...血闘を同じくする同僚が血を争うから血闘といつたので、もつともき込まれ支部活動はならぬ見ればこれはこじつけで内実は私の書いたことも成し得なかつたが終戦後た昔話などたれも読んでくれない

理事會だより

本部から

本部総会は四月三日午後三時から大園天満橋病院において行われたがこれに先立って同日一時からは役員會が開かれ本年度の予算報告に關して種々報告事項が協議され兵庫県から

は随分古びたがそれ以上からである。もつと現在でも園政においてもまた自覚、社会党の内紛にすべて椅子の争奪につきるといえるのだが...

話それ以上からである。もつと現在でも園政においてもまた自覚、社会党の内紛にすべて椅子の争奪につきるといえるのだが...

役員會を開いて初役員會のため長引いて旅費も数刻も早くから待機していた名はドリドリして待ちわびた。

酸流島の血闘で宮本武蔵は立会い時刻にわざと遅れ佐々木小次郎を

- 神戸市灘区城内通七ノ一 青木 幸雄 電話御影⑧二七六番
- 神戸市兵庫区上沢通七丁目三 天竹 稔 電話淡川⑤七七七番
- 神戸市長田区久保町九丁目一六 上村 幸夫 電話(須磨)一九八四番 (三宮)一九八六番
- 神戸市生田区下山手通八丁目四ノ四 川向 庄一 電話元町④五七三四番
- 神戸市兵庫区下山町二ノ三五 白川 直芳 電話(兵庫)〇八六七番 (淡川)〇八一三一番
- 神戸市生田区中山手通三丁目一七 田中 孝一 電話掛合③四七五〇番
- 神戸市兵庫区中道通二丁目一ノ二五 西原 一夫 電話兵庫①〇一四八番
- 神戸市灘区中原通六丁目七 藤岡 里美 電話御影⑧九七七一番
- 神戸市生田区北長狭通七丁目一六六 藤沢 敏雄 電話元町④二五九四番
- 神戸市長田区四番町八丁目五五四 前田 又一 電話淡川⑤九六六三番
- 神戸市灘区桜口町二丁目一七 宮脇 俊男 電話御影⑧五九四一番
- 神戸市兵庫区大開通八ノ二一街区ノ一 山田 明 電話淡川⑤〇七四七番